

復興状況に関する住民アンケート調査

集計結果

倉 敷 市

令和4年3月

調査方法	住民アンケート
	質問紙による郵送自記入・郵送返却
調査対象	被災世帯（真備地区） ※1 発送数：約5,700世帯 回収数： 2,360世帯 （41.6%） 【確定値】
調査時期	令和3年11月上旬～12月末日 ※2
主な質問内容	住まい・生活の状況／復興に向けた課題／災害への備え／地域のつながり、など

※1：調査対象は、平成30年7月豪雨災害で真備地区において全壊・大規模半壊・半壊となった被災世帯を対象とし、「倉敷市被災者生活再建支援システム」により住民基本台帳・支援情報送付記録・罹災証明の各種情報を踏まえて抽出した

※2：集計・分析では、〆切以降も調査票の返却があったため、令和3年12月31日までに「倉敷市災害復興推進室」に返却された調査票を対象とした

【結果の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（％）で示してある。数値は小数点以下第1位の四捨五入を原則とし、数値が1％未満の場合は小数点以下第2位を四捨五入した。このため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある
- ・図表中の「N」はnumber of casesの略で、回答者総数または分類別の回答者数を示す。各比率はNを100%として算出している

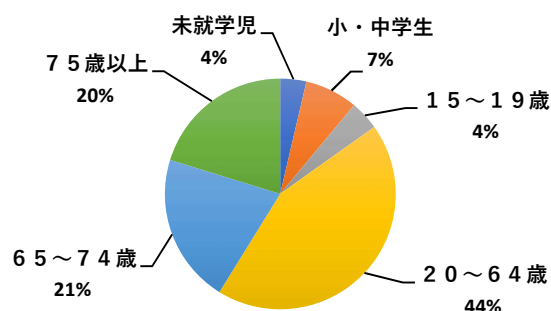
1 ご自身・世帯のことについて

問1 あなたを含めた世帯の人数は、何人ですか。

選択肢	件数	割合
1人	345	15%
2人	955	40%
3人	470	20%
4人	351	15%
5人	141	6%
6人	61	3%
7人	23	1%
8人	5	0.2%
9人	0	0.0%
10人	1	0.04%
無回答	8	0.3%
回答者数	2,360	

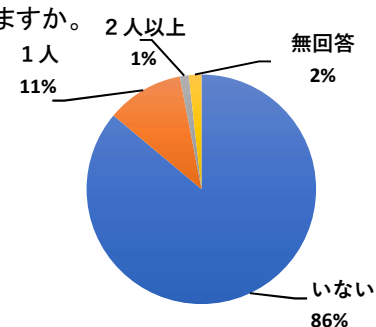
問2 世帯には、以下の方が何人いますか。

選択肢	件数							合計
	1人	2人	3人	4人	5人	6人	無回答	
未就学児	92	59	6	0	0	0	0	228
小・中学生	171	107	23	2	0	0	0	462
15～19歳	176	34	5	0	0	0	0	259
20～64歳	483	631	196	77	16	2	0	2733
65～74歳	495	394	1	0	5	0	0	1311
75歳以上	524	362	4	0	0	1	0	1266



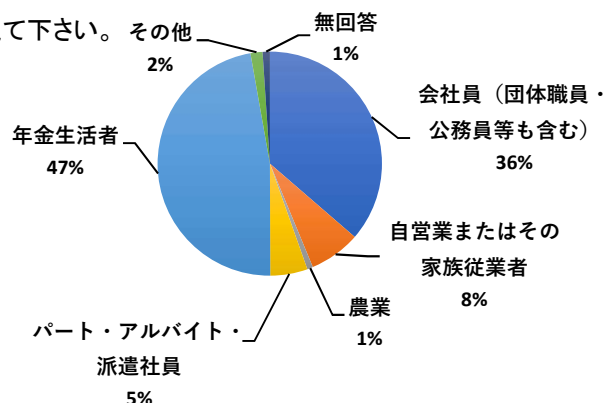
問3 世帯には、普段の生活で介護・介助が必要な方が何人いますか。

選択肢	件数
いない	2,032
1人	257
2人以上	29
無回答	42
回答者数	2,360



問4 世帯の生計を主に支えている方のご職業を教えてください。

選択肢	件数
会社員（団体職員・公務員等も含む）	857
自営業またはその家族従業者	175
農業	19
パート・アルバイト・派遣社員	127
年金生活者	1,117
その他	41
無回答	24
回答者数	2,360



2 住まいのことについて

問5-(1) お住まいの地域を教えてください(平成30年7月豪雨災害時)。

選択肢	件数	割合
(倉敷市真備町)		
川辺	644	27%
岡田	184	8%
辻田	273	12%
市場	8	0.3%
有井	312	13%
上二万	3	0.1%
下二万	22	0.9%
箭田	473	20%
尾崎	135	6%
妹	35	1%
服部	53	2%
(真備地区以外)		
倉敷	0	0.0%
児島	0	0.0%
玉島	0	0.0%
水島	0	0.0%
船穂	0	0.0%
倉敷市外	0	0.0%
該当なし	0	0.0%
無回答	218	9%
回答者数	2,360	

問5-(2) お住まいの地域を教えてください(仮住まい(避難所を除く、仮設住宅・親戚宅・自宅2階などの場所))

選択肢	件数	割合
(倉敷市真備町)		
川辺	41	2%
岡田	66	3%
辻田	30	1%
市場	39	2%
有井	23	1.0%
上二万	11	0.5%
下二万	6	0.3%
箭田	73	3%
尾崎	17	1%
妹	18	1%
服部	12	1%
(真備地区以外)		
倉敷	708	30%
児島	13	0.6%
玉島	209	9%
水島	105	4%
船穂	43	2%
倉敷市外	412	17%
該当なし	152	6%
無回答	382	16%
回答者数	2,360	

問5-(3) お住まいの地域を教えてください(現在のお住まい)。

選択肢	件数	割合
(倉敷市真備町)		
川辺	568	24%
岡田	149	6%
辻田	250	11%
市場	10	0.4%
有井	253	11%
上二万	4	0.2%
下二万	20	1%
箭田	393	17%
尾崎	114	5%
妹	33	1%
服部	49	2%
(真備地区以外)		
倉敷	190	8%
児島	9	0.4%
玉島	48	2%
水島	19	1%
船穂	9	0.4%
倉敷市外	158	7%
該当なし	15	1%
無回答	69	3%
回答者数	2,360	

問6 現在、真備地区に住んでから通算で何年目になりますか。

選択肢	件数	割合
1年未満	40	2%
1年未満～5年	120	5%
6年～10年	115	5%
11年～20年	204	9%
21年～30年	274	12%
31年～40年	349	15%
41年～50年	672	28%
51年以上	480	20%
無回答	106	4%
回答者数	2,360	

問7-(1) お住まいの建物を教えてください(平成30年7月豪雨災害時)。

選択肢	件数	割合
持家(一戸建て)	1,935	82%
持家(集合住宅)	10	0.4%
賃貸住宅(一戸建て)	41	2%
賃貸住宅(集合住宅)	138	6%
市営住宅	12	1%
災害公営住宅	0	0.0%
仮設住宅(建設型)	0	0.0%
仮設住宅(借上型)	0	0.0%
借家(親族宅など)	40	2%
その他	54	2%
無回答	130	6%
回答者数	2,360	

問7-(2) お住まいの建物を教えてください(仮住まい(避難所を除く、仮設住宅・親戚宅・自宅2階など))。

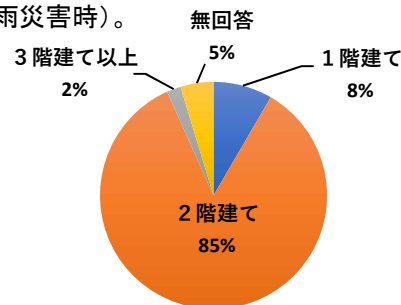
選択肢	件数	割合
持家(一戸建て)	266	11%
持家(集合住宅)	30	1%
賃貸住宅(一戸建て)	102	4%
賃貸住宅(集合住宅)	593	25%
市営住宅	7	0.3%
災害公営住宅	0	0.0%
仮設住宅(建設型)	90	4%
仮設住宅(借上型)	465	20%
借家(親族宅など)	195	8%
その他	167	7%
無回答	445	19%
回答者数	2,360	

問7-(3) お住まいの建物を教えてください(現在のお住まい)。

選択肢	件数	割合
持家(一戸建て)	1,805	76%
持家(集合住宅)	53	2%
賃貸住宅(一戸建て)	31	1%
賃貸住宅(集合住宅)	112	5%
市営住宅	40	2%
災害公営住宅	25	1%
仮設住宅(建設型)	3	0.1%
仮設住宅(借上型)	10	0.4%
借家(親族宅など)	27	1%
その他	77	3%
無回答	177	8%
回答者数	2,360	

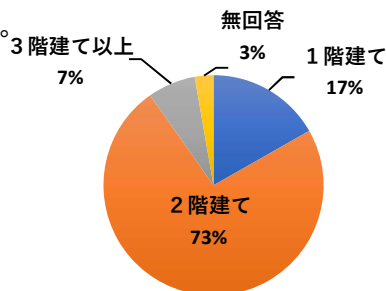
問8-(1) お住まいの建物は何階建てですか(平成30年7月豪雨災害時)。

選択肢	件数
1階建て	198
2階建て	2,004
3階建て以上	47
無回答	111
回答者数	2,360



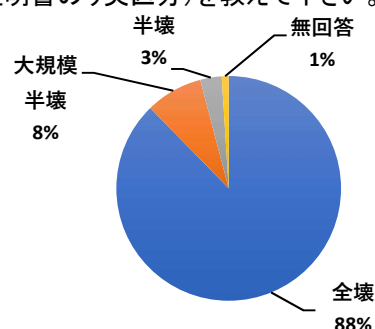
問8-(2) お住まいの建物は何階建てですか(現在のお住まい)。

選択肢	件数
1階建て	396
2階建て	1,734
3階建て以上	165
無回答	65
回答者数	2,360



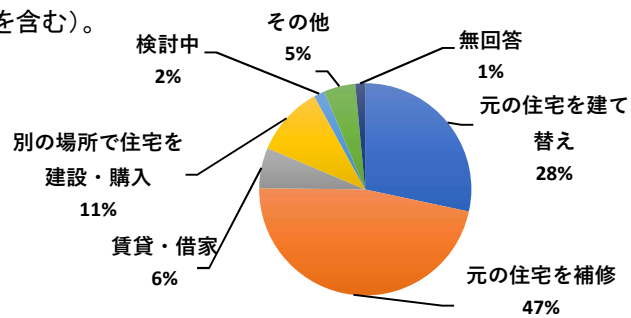
問9 平成30年7月豪雨災害でのお住まいの被害状況(り災証明書のり災区分)を教えてください。

選択肢	件数
全壊	2,069
大規模半壊	194
半壊	73
無回答	24
回答者数	2,360



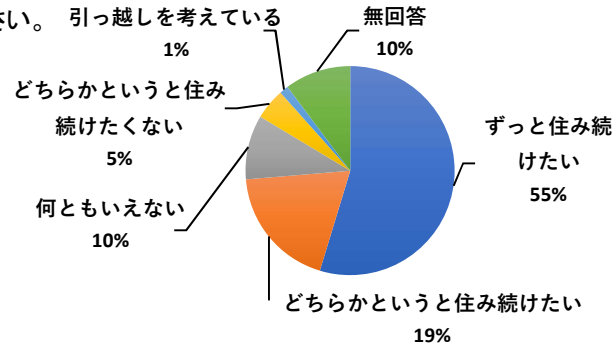
問10 お住まいの再建方法を教えてください(予定を含む)。

選択肢	件数
元の住宅を建て替え	669
元の住宅を補修	1,105
賃貸・借家	146
別の場所で住宅を建設・購入	252
検討中	39
その他	113
無回答	36
回答者数	2,360



問11 今後の真備地区での居住について教えてください。引っ越しを考えている

選択肢	件数
ずっと住み続けたい	1,290
どちらかというに住み続けたい	448
何ともいえない	235
どちらかというに住み続けたくない	113
引っ越しを考えている	33
無回答	241
回答者数	2,360

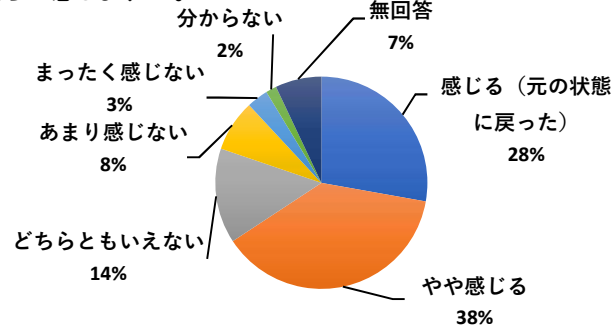


3 災害からの復興の現状について

問12 災害前の元の状態に戻ってきていると、どのくらい感じますか。

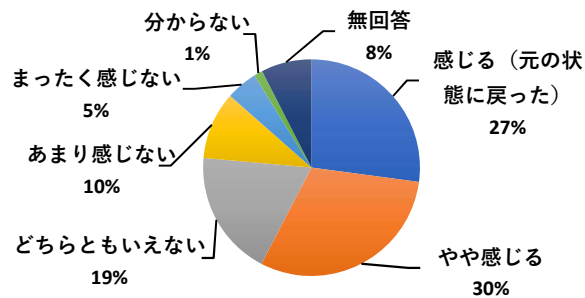
(1) 全体

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	656
やや感じる	895
どちらともいえない	342
あまり感じない	185
まったく感じない	78
分からない	38
無回答	166
回答者数	2,360



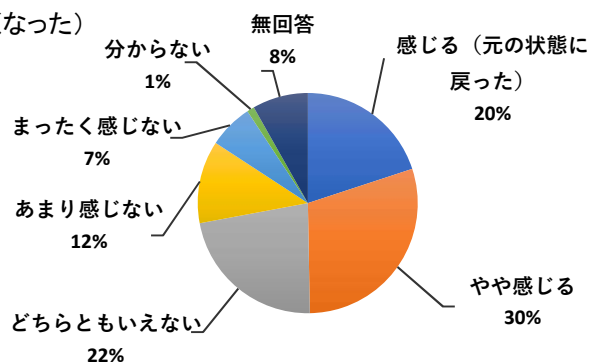
(2) ところとからだ(例: 災害の疲れから回復した)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	640
やや感じる	720
どちらともいえない	443
あまり感じない	239
まったく感じない	110
分からない	30
無回答	178
回答者数	2,360



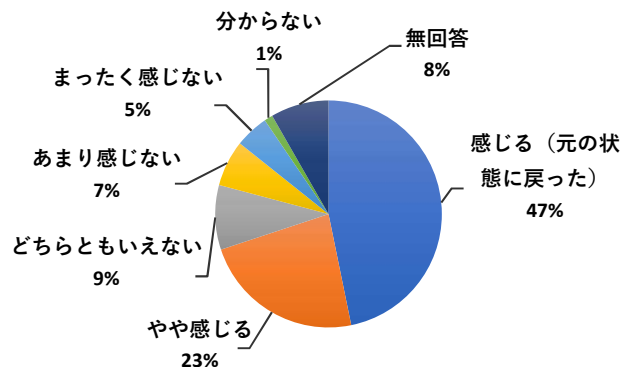
(3) 気持ち(例: 自分が被災したことをあまり意識しなくなった)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	471
やや感じる	702
どちらともいえない	528
あまり感じない	287
まったく感じない	154
分からない	25
無回答	193
回答者数	2,360



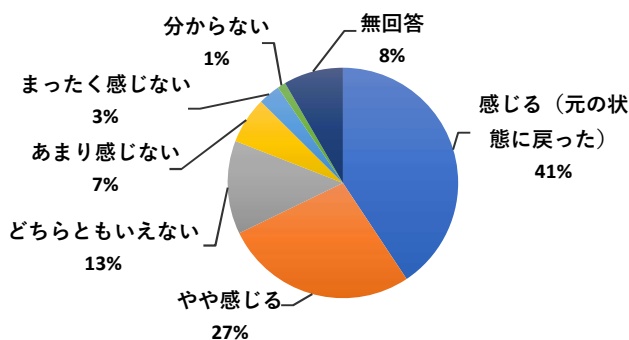
(4) すまい(例: 居住の課題が最終的に解決した)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	1,104
やや感じる	546
どちらともいえない	217
あまり感じない	156
まったく感じない	113
分からない	28
無回答	196
回答者数	2,360



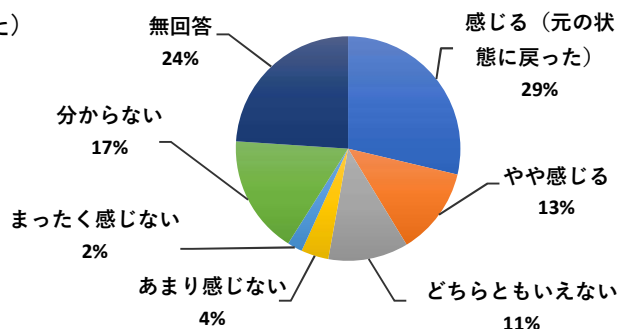
(5) 生活(例: 毎日の生活が落ち着いた)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	960
やや感じる	640
どちらともいえない	309
あまり感じない	155
まったく感じない	71
分からない	28
無回答	197
回答者数	2,360



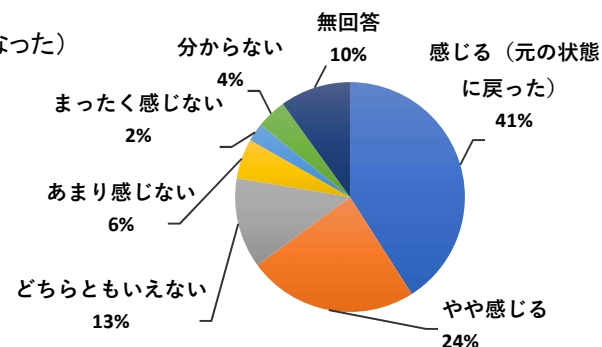
(6) 教育(例: 子どもの保育・教育の心配がなくなった)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	678
やや感じる	297
どちらともいえない	272
あまり感じない	93
まったく感じない	52
分からない	402
無回答	566
回答者数	2,360



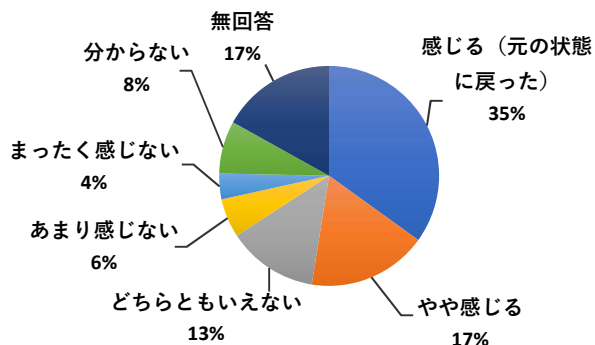
(7) 福祉・医療(例: 以前のように利用出来るようになった)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	967
やや感じる	565
どちらともいえない	300
あまり感じない	133
まったく感じない	61
分からない	99
無回答	235
回答者数	2,360



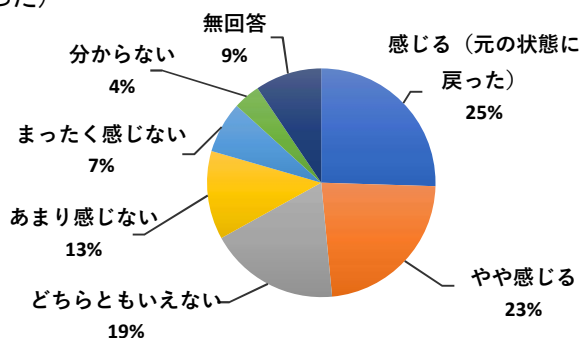
(8) 仕事(例: なりわいが元に戻った)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	824
やや感じる	415
どちらともいえない	315
あまり感じない	135
まったく感じない	89
分からない	183
無回答	399
回答者数	2,360



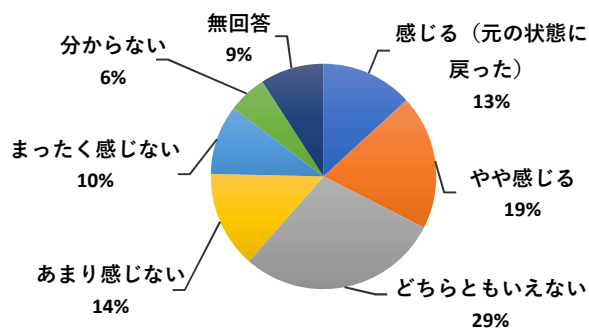
(9)生きがい(例:趣味や習い事などが出来るようになった)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	601
やや感じる	544
どちらともいえない	436
あまり感じない	295
まったく感じない	171
分からない	90
無回答	223
回答者数	2,360



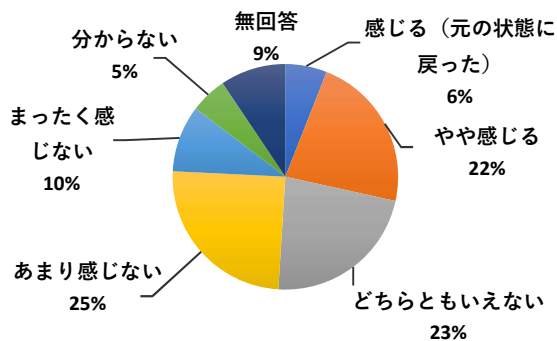
(10)将来の生活(例:不安がなくなった)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	311
やや感じる	456
どちらともいえない	684
あまり感じない	328
まったく感じない	235
分からない	131
無回答	215
回答者数	2,360



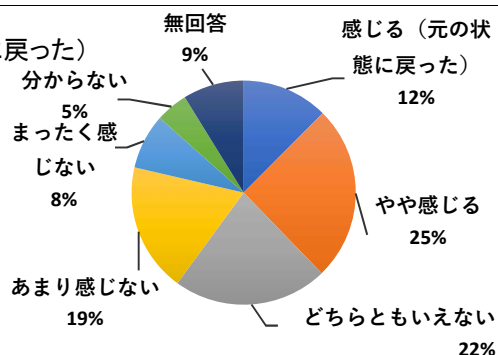
(11)まちのにぎわい(例:地域行事などが元に戻った)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	141
やや感じる	530
どちらともいえない	533
あまり感じない	585
まったく感じない	226
分からない	123
無回答	222
回答者数	2,360



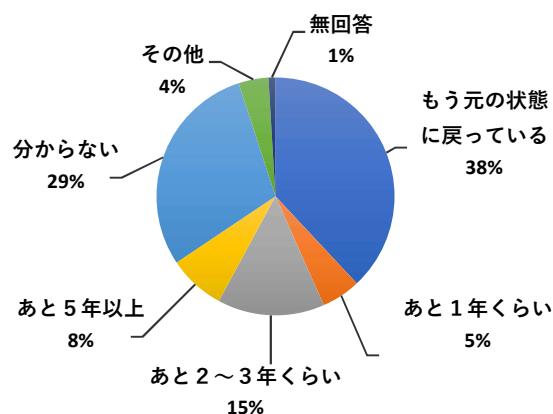
(12)人と地域のつながり(例:家族や地域とのつながりが元に戻った)

選択肢	件数
感じる(元の状態に戻った)	294
やや感じる	597
どちらともいえない	526
あまり感じない	438
まったく感じない	188
分からない	110
無回答	207
回答者数	2,360



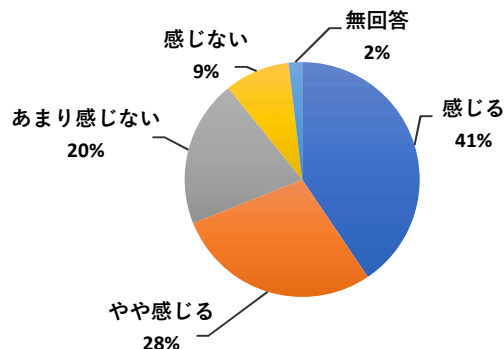
問13 生活全体が、災害前の元の状態に戻るのに、どのくらいかかるとお考えですか。

選択肢	件数
もう元の状態に戻っている	898
あと1年くらい	125
あと2～3年くらい	344
あと5年以上	182
分からない	693
その他	95
無回答	23
回答者数	2,360



問14 平成30年7月豪雨災害からの復興の進み具合に新型コロナウイルスの感染拡大が影響していると感じますか。

選択肢	件数
感じる	957
やや感じる	670
あまり感じない	478
感じない	211
無回答	44
回答者数	2,360



4 重視する行政の復興施策について

問15 これまでに行政が取り組んできた復興施策の進捗について。

(1) 進んでいると思う施策を上位3つまで選んで下さい

選択肢	件数	割合
まちを守る治水対策 (小田川合流点付け替え、河川改修など)	1,742	74%
身近な緊急避難場所の確保 (緊急避難場所の指定や整備など)	321	14%
災害に強い都市基盤づくり (道路復旧、避難経路や防災拠点の整備など)	357	15%
地区ごとの防災・減災体制づくり (防災教育、地区防災計画作成の促進など)	247	10%
行政の災害対応力の強化 (防災情報システムの機能強化など)	134	6%
被災者の生活支援 (生活再建支援、見守り相談支援、心のケアなど)	436	18%
安定した住まいの確保 (仮設住宅、災害公営住宅、リバースモーゲージ型融資などの住まいの再建支援、公費解体など)	629	27%
暮らしを支える公共施設等の復旧 (学校、公民館、真備支所などの復旧)	1,121	48%
農業の再興 (農地・施設の復旧、持続的な農業経営の支援など)	149	6%
地域企業の再興 (事業所の再建・復興支援、起業家支援など)	66	3%
にぎわいと交流の創出 (復興イベントの開催や農業交流などの支援)	54	2%
豊かな自然と歴史・文化の魅力を発信 (復興防災公園の整備、観光振興など)	41	2%
未来につながるまちづくり (にぎわいや交流促進に向けた拠点づくりなど)	26	1%
住民主体のまちづくり (交流機会や団体、人づくりの活動支援)	60	3%
国・県・市の連携による情報提供 (復興の取組みを広報紙などで発信)	449	19%
回答者数	2,360	

※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

(2)進んでいないと思う施策を上位3つまで選んで下さい

選択肢	件数	割合
まちを守る治水対策 (小田川合流点付け替え、河川改修など)	195	8%
身近な緊急避難場所の確保 (緊急避難場所の指定や整備など)	702	30%
災害に強い都市基盤づくり (道路復旧、避難経路や防災拠点の整備など)	573	24%
地区ごとの防災・減災体制づくり (防災教育、地区防災計画作成の促進など)	470	20%
行政の災害対応力の強化 (防災情報システムの機能強化など)	456	19%
被災者の生活支援 (生活再建支援、見守り相談支援、心のケアなど)	314	13%
安定した住まいの確保 (仮設住宅、災害公営住宅、リバースモーゲージ型融資などの住まいの再建支援、公費解体など)	150	6%
暮らしを支える公共施設等の復旧 (学校、公民館、真備支所などの復旧)	64	3%
農業の再興 (農地・施設の復旧、持続的な農業経営の支援など)	130	6%
地域企業の再興 (事業所の再建・復興支援、起業家支援など)	246	10%
にぎわいと交流の創出 (復興イベントの開催や農業交流などの支援)	476	20%
豊かな自然と歴史・文化の魅力を発信 (復興防災公園の整備、観光振興など)	279	12%
未来につながるまちづくり (にぎわいや交流促進に向けた拠点づくりなど)	605	26%
住民主体のまちづくり (交流機会や団体、人づくりの活動支援)	364	15%
国・県・市の連携による情報提供 (復興の取組みを広報紙などで発信)	159	7%
回答者数	2,360	

※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

問16 行政が取り組んでいる復興施策のうち、重視するものを上位3つ選んで下さい。

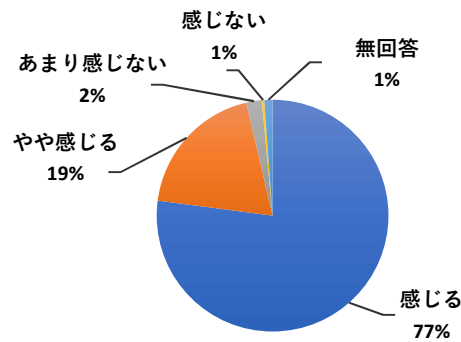
選択肢	件数	割合
まちを守る治水対策 (小田川合流点付け替え、河川改修など)	1,310	56%
身近な緊急避難場所の確保 (緊急避難場所の指定や整備など)	793	34%
災害に強い都市基盤づくり (道路復旧、避難経路や防災拠点の整備など)	952	40%
地区ごとの防災・減災体制づくり (防災教育、地区防災計画作成の促進など)	274	12%
行政の災害対応力の強化 (防災情報システムの機能強化など)	516	22%
被災者の生活支援 (生活再建支援、見守り相談支援、心のケアなど)	386	16%
安定した住まいの確保 (仮設住宅、災害公営住宅、リバースモーゲージ型融資などの住まいの再建支援、公費解体など)	194	8%
暮らしを支える公共施設等の復旧 (学校、公民館、真備支所などの復旧)	134	6%
農業の再興 (農地・施設の復旧、持続的な農業経営の支援など)	73	3%
地域企業の再興 (事業所の再建・復興支援、起業家支援など)	175	7%
にぎわいと交流の創出 (復興イベントの開催や農業交流などの支援)	172	7%
豊かな自然と歴史・文化の魅力を発信 (復興防災公園の整備、観光振興など)	120	5%
未来につながるまちづくり (にぎわいや交流促進に向けた拠点づくりなど)	302	13%
住民主体のまちづくり (交流機会や団体、人づくりの活動支援)	167	7%
国・県・市の連携による情報提供 (復興の取組みを広報紙などで発信)	258	11%
回答者数	2,360	

※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

5 災害への備えについて

問17 自然災害に対して不安を感じていますか。

選択肢	件数
感じる	1,819
やや感じる	455
あまり感じない	51
感じない	8
無回答	27
回答者数	2,360



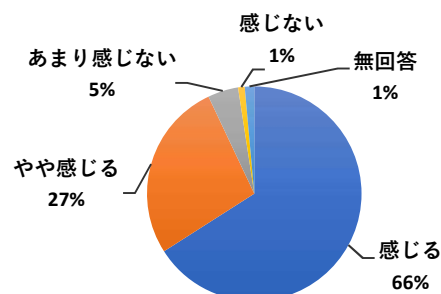
問18 自然災害のうち、水害に対する備えとして、どのようなことを実行していますか(複数回答)。

選択肢	件数	割合
自宅付近の水害の危険性を理解している	1,656	70%
自宅は水害を考慮した住宅になるよう工夫をしている(垂直避難やかさ上げなど)	449	19%
自宅などの水害保険に入っている	1,729	73%
日頃から、非常食や持ち出し品を準備している	808	34%
避難指示など、避難情報の内容を理解している	1,235	52%
避難情報は携帯電話等から入手できるように、防災ポータル等を登録している	892	38%
避難情報は、屋外拡声塔から入手するようにしている	228	10%
自宅で避難情報を入手できるよう緊急告知FMラジオ(こくち)を所持している	196	8%
避難行動の計画(「いつ」「なにを」すればいいか)を家族で共有している	598	25%
避難時の連絡方法や集合場所などを家族で共有している	731	31%
地域の防災訓練に参加している	238	10%
避難するときに近所の誰に声をかけるか決めている	578	24%
特に何もしていない	212	9%
回答者数	2,360	

※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

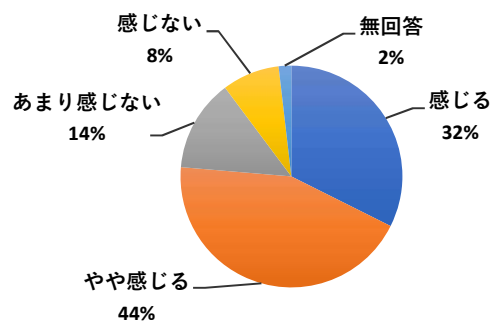
問19 いざという時の避難行動について、平成30年7月豪雨災害時と比べて意識が高まっていると感じますか。

選択肢	件数
感じる	1,556
やや感じる	638
あまり感じない	109
感じない	24
無回答	33
回答者数	2,360



問20 社会の中で、平成30年7月豪雨災害時の記憶が、災害直後と比べて薄れているように感じますか。

選択肢	件数
感じる	764
やや感じる	1,038
あまり感じない	317
感じない	197
無回答	44
回答者数	2,360



問21 災害の記憶や教訓を伝えていくために必要だと思う取組を3つ選んで下さい。

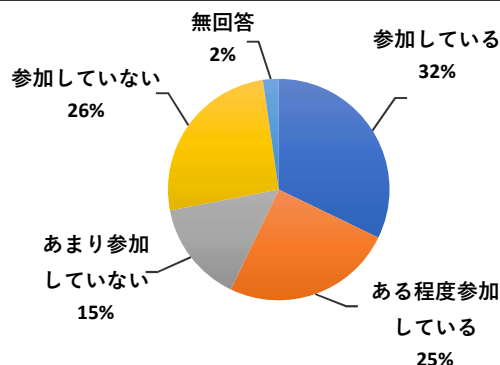
選択肢	件数	割合
普段から防災について、子どもと大人が一緒に話し合う	975	41%
地域で、防災講演会や具体的な避難計画の作成、防災訓練などを行う	805	34%
子どものころから、学校の防災授業で学ぶ	1,070	45%
災害の経験を伝える語り部や支援員などの人材育成	347	15%
模型・映像などを活用した、わかりやすい情報発信	708	30%
災害や復興に関する記録や資料の保存、公開	941	40%
過去に起きた事象や教訓を伝える碑や浸水高の看板などの設置	797	34%
災害からの節目の式典・イベントの開催	269	11%
災害からの復興状況や治水対策などを現地体験して学ぶ	490	21%
その他	45	2%
無回答	633	27%
回答者数	2,360	

※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

6 地域コミュニティの現状について

問22 現在、町内会・自治会の活動に参加していますか。

選択肢	件数
参加している	759
ある程度参加している	589
あまり参加していない	351
参加していない	607
無回答	54
回答者数	2,360



問23 町内会・自治会の活動に参加していない理由を3つまで選んで下さい。
(問22で「3か4」を選択された方のみ)

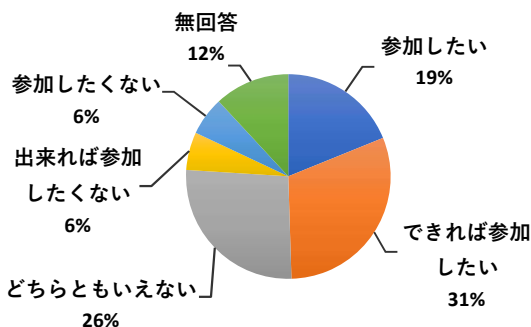
選択肢	件数	割合
新型コロナウイルス感染症の影響で十分に活動できないから	470	20%
参加組織がないから (もしくはあることを知らない)	274	12%
参加していなくても、必要な人とのつながりがあるから	247	10%
仲良しの近隣の人たちが戻ってきていないから	40	2%
近隣の人とかかわることが面倒だから	149	6%
今後、引越する予定があるから	32	1%
活動方針が自分の考えと合わないから	39	2%
自分の世帯の生活は戻ったが、まだ活動が負担であるから	217	9%
自分の世帯の生活が戻っていないから	104	4%
元々、参加していなかったから	256	11%
その他	167	7%
回答者数	2,360	

※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

問24 新型コロナウイルス感染症の影響がなくなったら、以下の町内会・自治会の活動に参加したいと思いますか。

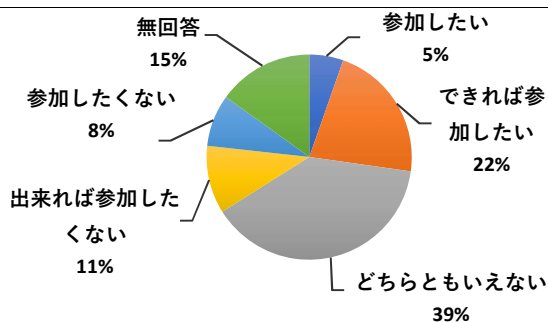
(1)地震や風水害などに備える自主防災活動

選択肢	件数
参加したい	445
できれば参加したい	723
どちらともいえない	626
出来れば参加したくない	141
参加したくない	144
無回答	281
回答者数	2,360



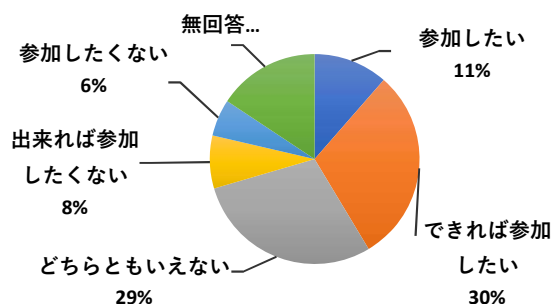
(2)地域の安全を見守る、防犯・パトロール活動

選択肢	件数
参加したい	127
できれば参加したい	515
どちらともいえない	917
出来れば参加したくない	253
参加したくない	193
無回答	355
回答者数	2,360



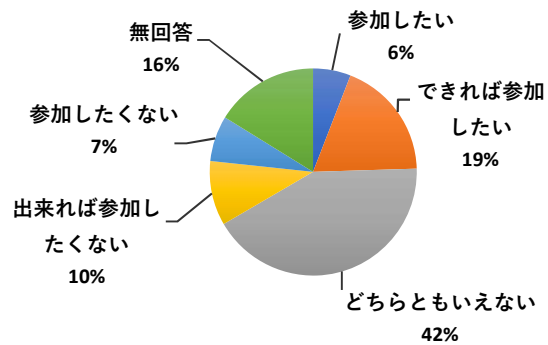
(3)ゴミ収集・花植替・清掃などの環境活動

選択肢	件数
参加したい	270
できれば参加したい	707
どちらともいえない	686
出来れば参加したくない	192
参加したくない	134
無回答	371
回答者数	2,360



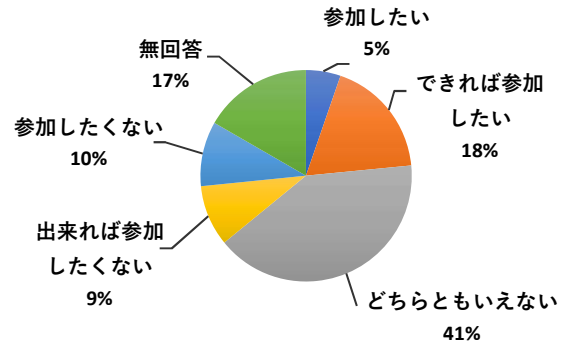
(4) 高齢者、障がい者などの福祉活動

選択肢	件数
参加したい	139
できれば参加したい	439
どちらともいえない	994
出来れば参加したくない	238
参加したくない	168
無回答	382
回答者数	2,360



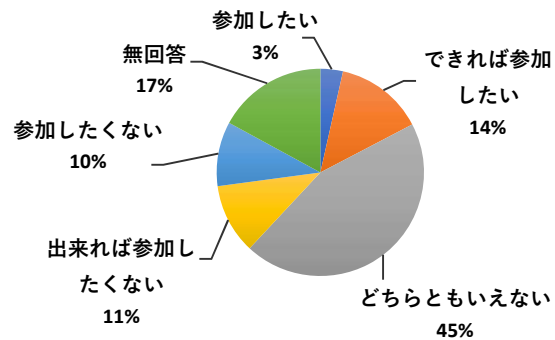
(5) 子育て支援に関する活動

選択肢	件数
参加したい	124
できれば参加したい	429
どちらともいえない	960
出来れば参加したくない	219
参加したくない	234
無回答	394
回答者数	2,360



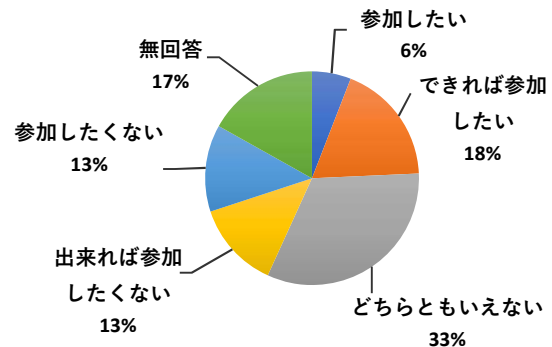
(6) 青少年健全育成に関する活動

選択肢	件数
参加したい	83
できれば参加したい	326
どちらともいえない	1,053
出来れば参加したくない	258
参加したくない	237
無回答	403
回答者数	2,360



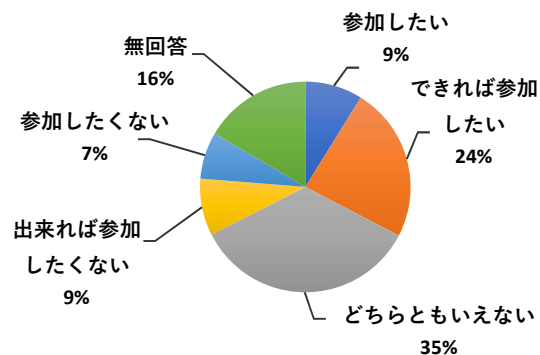
(7) 地区体育祭などのスポーツ活動

選択肢	件数
参加したい	139
できれば参加したい	434
どちらともいえない	768
出来れば参加したくない	310
参加したくない	311
無回答	398
回答者数	2,360



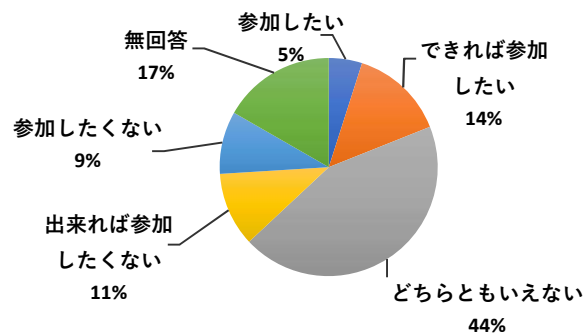
(8) 趣味の活動や文化展などの文化活動

選択肢	件数
参加したい	208
できれば参加したい	562
どちらともいえない	824
出来れば参加したくない	206
参加したくない	170
無回答	390
回答者数	2,360



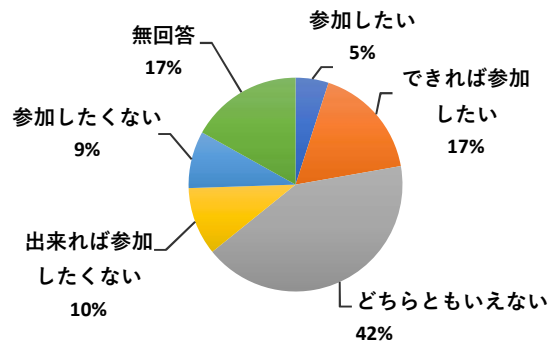
(9) 歴史、文化の承継活動

選択肢	件数
参加したい	117
できれば参加したい	331
どちらともいえない	1,039
出来れば参加したくない	259
参加したくない	219
無回答	395
回答者数	2,360



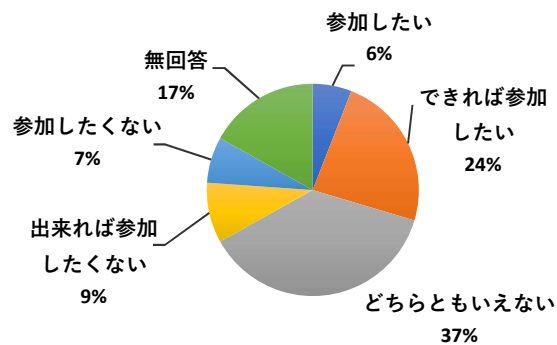
(10) 教育活動など生涯学習に関する活動

選択肢	件数
参加したい	118
できれば参加したい	406
どちらともいえない	991
出来れば参加したくない	243
参加したくない	204
無回答	398
回答者数	2,360



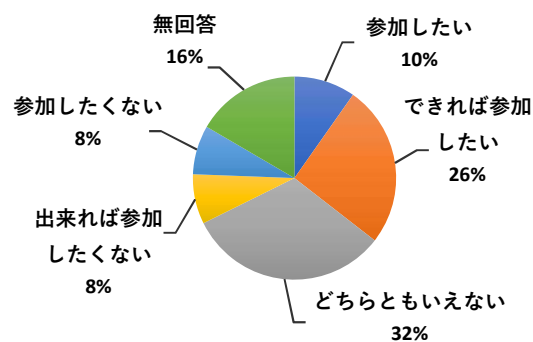
(11) ボランティア等の被災者支援活動

選択肢	件数
参加したい	140
できれば参加したい	560
どちらともいえない	879
出来れば参加したくない	217
参加したくない	165
無回答	399
回答者数	2,360



(12) まちづくりや地域のイベント等の活動

選択肢	件数
参加したい	230
できれば参加したい	608
どちらともいえない	759
出来れば参加したくない	187
参加したくない	185
無回答	391
回答者数	2,360



問25 町内会・自治会等の地域コミュニティ活動が活性化するためには、どのようなことが必要か
3つまで選んで下さい。

選択肢	件数	割合
新型コロナウイルス感染症の収束	1,577	67%
活動内容の積極的な広報や周知	502	21%
地域住民の参加意識の啓発	714	30%
地域活動リーダーの育成	416	18%
地域で気軽に集まれる雰囲気づくり	1,230	52%
話し合いによる復興に向かう地域課題の共有	158	7%
子どもや若い世代が活躍する機会や活動の増加	603	26%
活動手法などを外部団体から学ぶ環境づくり	138	6%
市からの支援メニューの紹介や情報提供などの機会の増加	443	19%
その他	69	3%
回答者数	2,360	

※複数回答のため、割合総計が100%を超えています。

7 その他(自由記述)

問26 復興を進めるためにできる住民同士の支え合いについて、どのようなことが必要だと思いますか。
(地域に対してのご意見等)

→別紙参照

問27 今後の復興に向けた取り組みについて、どのようなことが必要だと思いますか。
(行政に対してのご意見等)

→別紙参照

以上

7 その他【地域・住民同士の支え合いが必要なこと】（問26自由意見）

【主なご意見】

①コミュニケーション

- 片付けや草刈りなどのお手伝いをする
- 日ごろから一人暮らしの方やお年寄りなどへ気軽に声掛けし、近所同士で助け合える関係をつくる
- 気軽に話し合える関係になれば良いが、交流する場所がない
- 自分の事や家族の介護で精一杯であり、他人の手助けまではできない
- ほかの地域へ移住したので、周囲の目を気にして真備に行きづらくなっている

②町内会活動・イベント

- 新型コロナウイルス感染症が収束したら、住民参加の行事を再開させたい
- 災害後に町内会の集まりがなくなったため、まずは集会を再開したい
- みんなが気軽に話し合える場所・環境をつくる
- 草刈りや清掃などの町内会活動により、顔を合わせて会話できるようにする
- 手作りマーケットなど、定期的に集まれるイベントを行う
- 地域の防災訓練やマイ・タイムラインの検討などを通じて災害弱者の把握をしたり、隣の家の人との関わりなど、孤立する人がいないようにする
- 地域の一人一人が防災意識をしっかりと持てるようにする
- 現在は高齢者が中心となって行事を開催しているため、若者のリーダーを育成する
- 高齢になり町内会活動に参加したくてもできない
- 通常の集会でも防災活動に関するものが多く、災害に対して過敏になっている

③その他

- 何でも行政頼みにせず住民に出来ることは自分たちですよう心掛ける
- 町内でバラバラになった友人・知人の安否が知りたい
- 被災後に被災していない方々が多く転入しており、あまり地域の繋がりを感ぜなくなった

7 その他【行政による復興の取組が必要なこと】（問27自由意見）

【主なご意見】

①治水対策

- 何よりも治水対策が大切だと考えている。治水事業を進めてほしい
- 樹木伐採など、計画的な小田川の維持管理をしてほしい
- 工事に時間がかかりすぎている。雨の日は不安になる
- 通行止めが長期にわたるため、毎日の生活（買い物、通院など）に支障をきたしている
- 治水工事で工事車両などが増えて、小学校の通学路の交通事故リスクが高まっている

②復興全般

- 復興状況の報告や案内を継続し、風化させない取組が必要
- 復興状況のこまめな情報発信が必要
- 地域活動に対して、金銭的・肉体的に支援してほしい
- 新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、医療費の補助や税金の免除等を考えてほしい
- 真備地区に戻りたくても戻れない方々への支援が必要
- 被災者の心のケアが重要
- 大きくなくても良いので、日徐けのある皆が集まれる場所がほしい
- 災害の原因や行政の対応等について（裁判など関係なく）検証し、その結果を住民へ周知することが必要
- 復興が進んでいない取組についても、しっかりと情報発信してほしい
- 災害以降、空き地や空き家が増えている。雑草も生えていて困っているため、支援してほしい
- 被災後の環境に慣れただけで、被災前の状態に戻ることは難しい
- イベント開催などを支援して、真備地区へ人が集まるようにしてほしい
- 若い世代が住みたくなくなるようにしてほしい
- 真備地区の川辺や有井などの一部に商業施設が集中していて不便
- 高齢者や身体障害者が安心して買い物や病院へ行けるように、交通手段の確保に力を入れてほしい
- マービーふれあいセンターの利用料金を安くしてほしい
- 地域の集会所が被災して、いろんなイベントができないため、集会所の再建支援をしてほしい

③防災・災害対応

- 災害時の情報伝達手段を検討して、災害に関する情報を早く・分かり易く提供してほしい
- 避難情報の屋外放送は、拡声塔や広報車では何を言っているか分かりにくいいため、聞こえるようにしてほしい
- リアルタイムでテレビで川の増水状態が見られるようにしてほしい
- 自主防災組織の立ち上げに対する支援をしてほしい
- 真備地区の災害について、小・中・高生が防災に関する授業などを通して学んでほしい
- 街路灯の数が少ない。防犯対策の側面からも街路灯を設置してほしい
- 避難情報が遅く、その後の対応も後手になっている。もう少し早く情報が入っていれば避難できた
- 45年前から住み始めたが、真備地区が水害の多い地域だとは知らなかった

④避難場所・避難所など

- 安全に行ける避難所が近くにないため、整備してほしい
- 災害時は、避難所が満員で避難できなかったので、沢山の人が避難できる場所を確保してほしい
- 避難所・避難場所へのアクセスルートを表示してほしい
- 避難所のトイレ等の老朽化が激しいので、特に高齢者・幼児・女性に対して劣悪な環境となっている
- 避難所に避難した人と自宅避難者・みなし仮設の住人などの間で、情報や支援物資等の配布が不公平だった

⑤その他

- 真備地区のイメージアップが必要
- 若者が移住・定住出来るような取組を行ってほしい。周りが高齢者ばかりで将来が不安
- 小さなイベントで市長自らが防災の話をしているのが良い印象だった
- 災害の教訓を生かして一人一人が早めの対応を心がけたい（自助・共助・公助ともに）
- 行政の支援は有難いが、そろそろ住民も自立することが必要と思う
- 現状で十分対応されていると思います
- 倉敷市民で良かったと、心から感じています